

# 火災が増加しています!!

## ～平成30年中の火災状況～



平成30年度東京消防庁防火標語  
**火の用心 一人一人の 心掛け**  
 作者 向井 洋平 さん（葛飾区在住）

表1 平成30年中の火災状況（件）

|          | 計   | 対前年比 |
|----------|-----|------|
| 火災件数     | 42  | +16  |
| 建物火災     | 19  | +8   |
| 車両火災     | 1   | -1   |
| その他の火災   | 22  | +9   |
| 焼損床面積（㎡） | 378 | +182 |

表2 平成30年中各市町村別の火災状況（件）

|       | 計  | 対前年比 |
|-------|----|------|
| 火災件数  | 42 | +16  |
| あきる野市 | 31 | +9   |
| 日の出町  | 8  | +4   |
| 檜原村   | 3  | +3   |

図1 出火原因別

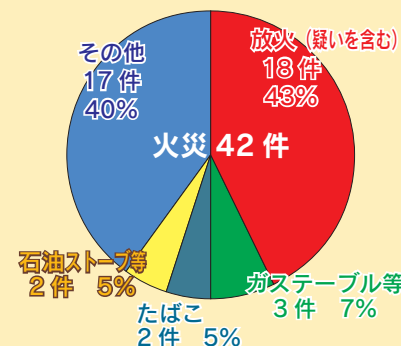
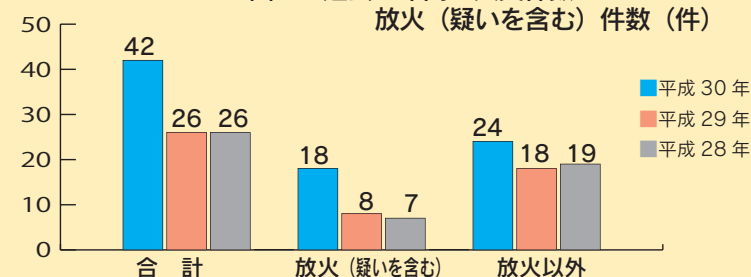


図2 過去3年間の火災件数と放火（疑いを含む）件数（件）



### ◆平成30年中の火災状況

※以下、平成30年中の数値は速報値です。

平成30年中に秋川消防署管内で発生した火災は42件で、前年の26件から16件増加しています。

火災種別ごとの件数でみると、建物火災は19件で前年の11件から8件の増加、車両火災は1件で前年の2件から1件の減少、その他の火災は22件で、前年の13件から9件の増加となっています。

焼損床面積は378㎡で、前年の196㎡から182㎡の増加となっています。（表1）

### ◆平成30年中の火災 市町村別の状況

火災件数42件を市町村別にみると、あきる野市は31件で前年の22件から9件の増加、日の出町は8件で前年の4件から4件の増加、檜原村は3件で前年の0件から3件の増加と、いずれも増加しています。（表2）

### ◆平成30年中の火災 出火原因

火災件数42件を出火原因別にみると、1位は放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）の18件で、前年の8件から10件の増加となっており、出火原因全体の43%となっています。

2位はガステーブルなどの3件、3位はたばこおよび石油ストーブなどの各2件となっています。（図1）

### ◆過去3年間の火災件数と放火による火災件数

平成30年中に発生した東京消防庁管内の放火による火災は702件で、前年の896件から194件の大幅な減少に対して、秋川消防署管内は10件の増加であり、平成29年中の8件（31%）、平成28年中の7件（27%）と比較してみても、高い割合となっています。

過去3年間の火災件数は、図2のとおりです。

## STOP! 放火による火災!

### ～放火による火災を防ぐポイント～

- ・地域が一体となって、放火に対する警戒心を高め、放火されにくい環境づくりに努めましょう。
- ・家の周りは常に整理整頓し、燃えやすい物は置かないようにしましょう。
- ・物置、車庫などは外部から簡単に侵入できないように、必ず鍵をかけておきましょう。
- ・ごみは、決められている日の朝に出しましょう。
- ・共同住宅の廊下・階段などの共用部分には物を置かないようにしましょう。



## STOP! ガステーブル等（こんろ）の火災

### ～こんろによる火災を防ぐポイント～

- ・調理中にこんろから離れないようにしましょう。
- ・こんろの周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ・安全機能付きのこんろを使用しましょう。
- ・換気扇やこんろ周りの壁、魚グリルなどは定期的に掃除しましょう。



### ～着衣着火を防ぐポイント～

- ・こんろの上や奥にある調味料などを取るときは、火を消しましょう。
- ・こんろの火が鍋などの底からはみ出さないように火力を調節しましょう。
- ・調理をするときは、ストールやマフラーは外しましょう。
- ・防災製品のエプロンやアームカバーを使いましょう。



## STOP! たばこ火災

### ～たばこ火災を防ぐポイント～

- ・寝たばこは絶対にやめましょう。
- ・飲酒→喫煙→うたた寝に注意しましょう。
- ・吸殻は水で完全に消火しましょう。
- ・吸殻はためずに定期的に捨てましょう。
- ・万が一に備え、布団カバーやシーツ、枕カバーは防災製品を使いましょう。



お問合せ先

問 生活安全安心課 防災・コミュニティ係

内線 331～333

問 秋川消防署 予防課防火査察係 ☎ 042-595-0119

内線 520